

## 事例⑥ 惣新田地区（1期）

事業区域の農地面積	: 50.4ha
農地バンクを活用した面積	: 10.9ha (21%)

惣新田地区（東川・一ツ谷・下沢目木）にて地域計画の策定にあたり実施したアンケート調査の結果、担い手や後継者不足の声が多く上がっていたため、地域に対し農業経営規模の拡大を目指す農業者を紹介した結果、区域内の農地3.3haで来年から耕作を行うこととなりました。

また、そのうち2.5haが耕作放棄地であり同じく来年度に解消される見込みです。

しかしながら当該地域は不在地主が多く、今後も耕作放棄地の増加が懸念されるため、継続して農地バンクの利用を推進していく必要があります。

